

# 中富生産組合の取組み

—集落営農で良好な農業環境を目指して—



制作 農事組合法人 中富生産組合

制作担当 齊藤貞夫

制作協力 周西マップクラブ

元岡陸視

平成25年2月補正



# 中富の紹介

君津市中富は、千葉県の南西部に位置しています。  
JR君津駅から市道君津駅前線を南へ約800m地点、清澄山系に水源をもつ千葉県で2番目に長い小糸川に接する約80戸の集落です。



# 昔の小糸川 絵図（1674年）

約310年前までの小糸川は、中富を囲むような流路で、洪水のたびに耕地が水没しました。





# 地頭 大草平内 (日の宮様)

時の地頭大草平内は、この惨状を見て直線化(現在の流路)に尽力、完成。住民は、地頭を日の宮様として崇め、年2回の法要とお日待ち(大盛りのご飯とケンチン汁等で食事会)の伝統行事



大草平内廟



# 農業協働化の検討

農業協働作業化の検討資料(案)

平成 14 年 3 月 16 日

- 目的
- 経過
- 検討事項
- 進め方

## 目的

1. 良好な農業環境の維持
2. 次世代が持続できる農業経営
3. 機械購入負担の軽減、作業効率の向上
4. 協働作業、生産活動が楽しくなる活動

## 検討事項

1. 協働作業化の必要性
2. 農事組合法人化の必要性
3. 必要と判断された事項の進め方及び実施時期
4. 活動内容

## 経過

1. H13.12.9 石上神社献穀祭 コンバイン所有者 9 名に「今後の農業のあり方について」提案
2. H14.2.20 千葉県農業会議の法人化説明会に出席
3. H14.3.9 協働作業化、法人化は必要と判断
4. H14.3.17 自治会総会で経過と今後の進め方を報告
5. H15.1 4 名で任意組合「中富生産組合」発足  
耕作面積 約 9 町 2 反  
全面積を個人の処理能力に応じ配分

## 今後の進め方

1. 協働作業化の進め方
  - 1) 秋の獲り入れ作業で一部試行
  - 2) 各戸の農機具調査の実施。効果的な農機具購入
  - 3) 先進地好事例の視察
  - 4) 農地の作業効率向上のため、区画拡大の条件整備
2. 法人化の進め方
  - 1) 発起人の選任
  - 2) 事業計画の策定
3. 活動内容
  - 1) 農業生産物の栽培、販売、品質管理
  - 2) 農業生産に関する研究会発足
  - 3) 中富住民の多くの参加
  - 4) 市街化(開発行為)を考慮した設備投資、農地の整備

- 対象⇒定年者      ○将来規模⇒最大約20ha
- 機械⇒個人借用⇒組合移行      ○補助金なし

# 目 的

- 良好な農業環境⇒耕作放棄地の減少  
    畦畔撤去による区画拡大・耕作区域の集中化
- 次世代が農業を継続⇒作業環境の整備
- 機械購入の負担軽減  
⇒メンテナンス術の習得、長期計画の策定
- 楽しくできる協働作業、生産活動  
⇒仲間づくり、体力維持

\*赤字:今回追記

# 検討事項・経過

- 検討事項⇒協働作業、法人化の必要性  
活動内容、進め方

## ・経過

H13.12.9 献穀祭 コンバイン所有者9名に提案

H14.2.20 千葉県農業会議の法人化説明会

H14.3.9 協働作業、法人化は必要と判断

H14.3.17 自治会総会で経過と今後の進め方を報告。

H15.1 4名で任意組合「中富生産組合」発足  
耕作面積 約9町2反 全面積を個人の処理能力に応じ配分



# 進め方

- 規約(組織)⇒農事組合法人に準じ作成
- 農作業賃金⇒一律1時間1000円(昼休除く)
- 機械使用料金⇒農業委員会、JA等の1割安
- 機械借上げ(査定)基準⇒  
取得価格×(耐用年数の残年数+耐用利用時間の残時間の平均)

例 トラクター 耐用年数 12年 耐用時間 700時間 H10.11 2780千円で取得 4年経過  
 $2780 \times ([12-4] \div 12 + [700-278] \div 700) \div 2 = 1765$ 千円 8年間で均等支払い



# 機械借上げ料返済計画

機械借上げ料支払い計画 (単位 千円)

機械名	支払い回数 所有者/年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		H15	, 16	17	18	19	20	21	22	23
トラクター	収入予想	646	646	646	646	646	646	646	646	646
	貞夫	220	220	220	220	220	220	220	220	220
	諒	194								
	小西	132								
	組合		300	300	300	300	300	300	300	300
ドライブハロー	小西	38	38	38	38	38	38	38		
	支出計	584	558	558	558	558	558	558	520	476
畔塗り機	省略									
田植え機	省略									
コンバイン	収入予想	888	888	888	888	888	888	888	888	888
	貞夫	227	228	229	230	91				
	諒	227	227	227	68					
	小西	234	234	234	234	234	234	234	164	
	組合									
	支出計	688	688	688	529	325	234	234	164	
乾燥機	収入予想	715	715	715	715	715	715	715	715	715
	貞夫	145	145	145	145	58				
	諒	174								
	組合	400	400	400	400	200				
	支出計	719	545	545	545	258				
籾摺り機	省略									
含む省略分	収入予想計	2599	2599	2599	2599	2599	2599	2599	2599	2599
含む省略分	支出予想計	2430	2230	2230	2071	1550	1181	1169	954	524

# 効 果

- 耕作放棄地の解消 約1町6反
- 育苗ハウスの集中化 5棟⇒24年6棟
- プール育苗
- 効率化機械の導入⇒播種機、溝切り機  
コンプレッサー、ハロー
- 機械大型化⇒トラクター、田植え機、コンバイン  
乾燥機
- 節目の懇親会、年1回親睦旅行



# 課題・問題点 18年2月整理

- 利害、自己主張、仕事等の調整が面倒
- 団体行動、規約の履行等制約が多い
- 借入金が多額になり、米価の引下げ、事故等を考えると不安
- 新規加入者のための条件整備が必要
  - \* 設立後、数年間は組合を脱退したいとの声がしばしばあったが、現在は、殆ど聞かれない。

# 経営の見直し H18年2月

1. 新規加入者のために⇒説明資料作成
  - 中富生産組合設立の趣旨
  - 組合員の加入資格
  - 農作業の進め方、機械、施設、資材等の取扱
  - 協働作業
  - 組合の長所、短所
  - 24年耕作面積 **約15町歩**
    - 個人管理半分(所得向上・耕作意欲)
    - 共有管理半分(借入金返済外)

個人:3町以上 2名、7反未満 7名  
組合:15町歩 5名 約60%耕作  
準組合員:定年予定者:3名 他2名



# 各種データの考察

## 機械の 経済比較 について

## 組合の 機械使用と 個人の 標準的機械使用 との比較

### 1. 機械の経済比較について

(組合の負担金制と個人が標準的に導入する機械を比較)

項目	価格 (千 円)	単価 (円/反)	耐用年数 (年)	耕作面積 (反) * 1	耕作面積 (15反)	使用年数 (年) * 2	
トラクター	2,000	6,300	12	26.4	15	21.2	
トラクター	3,235	6,300	12	42.8			トラクター2,735,000円 ハロー498,750円
田植機(歩行)	500	2,500	10	20.0	15	13.0	
田植機(乗用)	1,050	2,500	10	42.0		28.0	5条
田植機(乗用)	1,806	2,500	10	72.2			組合6条
コンバイン	2,000	8,850	10	22.6	15	15.1	袋取り
コンバイン (3条)	3,500	8,850	10	39.5			コンバイン3,300,000円 運搬機200,000円
乾燥・籾摺機	1,230	900	10	17.1	15	11.4	乾燥機883,000円 籾摺機400,000円 ほかにグレーダー 作業所建設費あり
乾燥・籾摺機	2,371	900	10	32.9			乾燥機1,567,065円 籾摺機603,705円 ほかにグレーダー 作業所建設費あり
畔塗機	500	1,200	10	41.7	15	27.8	

注1 \* 1耕作面積は、機械の価格を耐用年数内で採算を取るために必要とする面積です。

例 トラクター200万円 200万円=6,300円×12年×反 反=26反(以上耕作する必要あり)

注2 \* 2使用年数は、耕作面積15反とした場合、採算を取るために必要とする年数です。

例 トラクター200万円 200万円=6,300円×15反×年数 年数=21.2年(以上必要)

比較結果

個人

- 個人の場合、長期間使用(トラクター、畔塗機)、労働力が必要(歩行田植機、袋取りコンバイン)  
また、採算をとったうえでの買換えは実質難しい。(個人で20~25反以上耕作する必要あり)
- 組合の場合、現在は15町歩で大型機械を各2台で稼働しているので、所有する機械を適切な時期に買換えが可能と判断します。

# 耕作方式別 収支比較 (概算)

- ・全部自作
- ・機械委託
- ・全部委託
- ・組合

耕作方式別収支比較表 (概算)

18. 2. 5

収支	項目	単価	数量	金額	備考	
全部自作 収入	自作分	8俵/反	12反	12000円/俵	1,152,000	
	小作分	8俵/反	3反	12000円/俵	288,000	
	計				1,440,000	
支出	機械代	26,050円/反	15		390,750	
	維持費	8,250円/反	15		123,750	
	育苗	390円/箱	20	15	117,000	
	肥料・農薬代	10,500	15		157,500	元肥 追肥 農薬
	小作料	1	3	12,000	36,000	
	その他経費	15,000円/反	15		225,000	
	計				1,050,000	
差引				390,000		
機械委託 収入	自作分	8俵/反	12反	12000円/俵	1,152,000	
	小作分	8俵/反	3反	12000円/俵	288,000	
	計				1,440,000	
支出	機械代	37,730円/反	15		565,950	全機械・維持×1.1
	育苗	390円/箱	20	15	117,000	
	肥料・農薬代	10,500	15		157,500	
	小作料	1	3	12,000	36,000	
	その他経費	15,000円/反	15		225,000	
	計				1,101,450	
差引				338,550		
全部委託 収入	自作分	1俵/反	12反	12000円/俵	144,000	小作分なし
組合 収入	自作分	8俵/反	12反	12000円/俵	1,152,000	1軒平均
	小作分	8俵/反	18反	12000円/俵	1,728,000	30反
	計				2,880,000	
支出	機械代	26,050円/反	30反		781,500	
	維持費	8,250円/反	30反		247,500	
	育苗	390円/箱	30反	20箱/反	234,000	
	肥料・農薬代	10,500	30反		210,000	
	小作料	12,000	18反		216,000	
	その他経費	15,000円/反	30反		450,000	
	計				2,139,000	
差引				741,000		

## 比較結果

- 作業者(人)  
自作 すべて家族作業(老齢化しても同じ)  
組合 1人/軒を原則(必要により家族が交代または応援、年齢に応じた作業が可能)
- 耕作面積(物)  
自作は中規模農家(拡大しにくい)、組合は現在の耕作面積を6軒で割った面積を採用した。
- 使用機械・年数の条件(物 [資料4-1 機械の経済比較参照])  
自作 トラクター20年(ハロー無) 田植機(歩行)13年 コンバイン(袋取り)15年 長期使用と仮定、畔塗は委託  
組合 トラクター12年(ハロー付) 田植機(兼用)10年 コンバイン(タンク付)10年 畔塗10年は、耐用年数内かつ大型機械使用と仮定 育苗種蒔きは播種機使用等の合理化、効率化が図れる。
- 収入(金)  
耕作規模、受託の拡大などによる収入増を含めると組合方式がプラス面が多いと判断しますが、ただし、調整作業、交際費が増加する。



# — 中富生産組合ライスセンター完成 —

(平成23年7月)

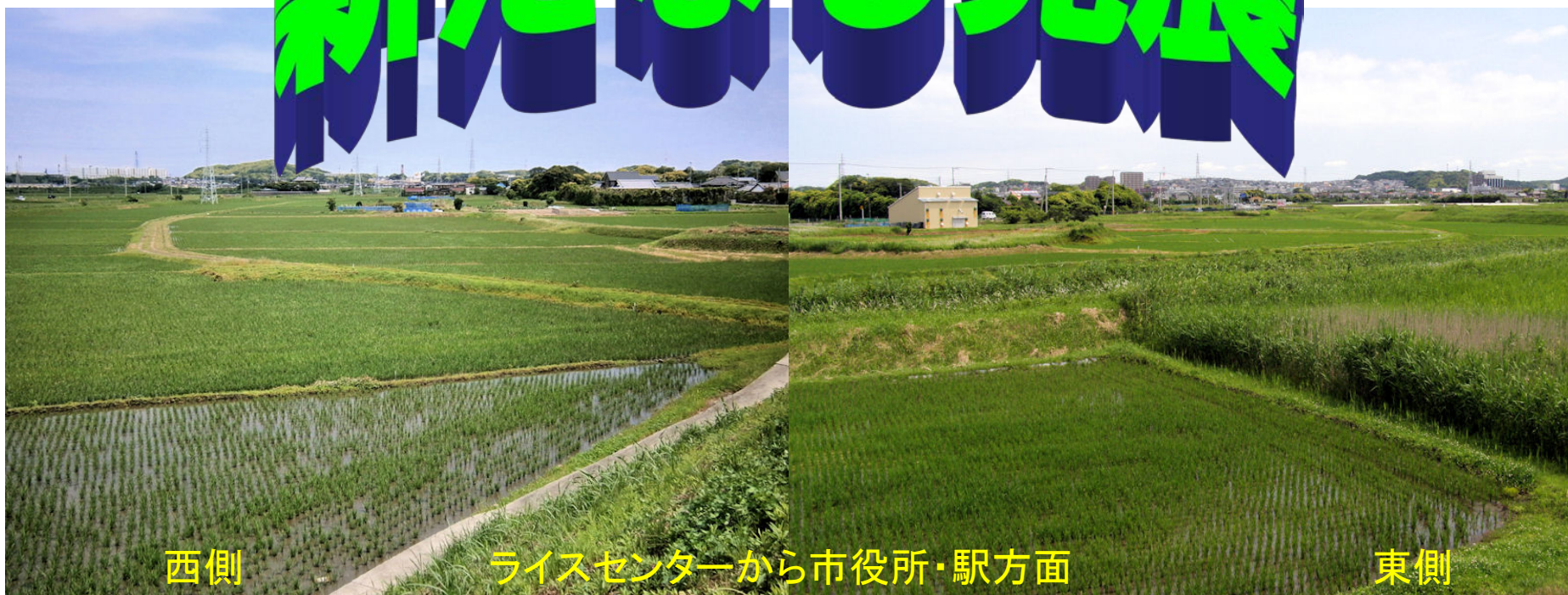


平成24年12月  
機械格納庫増築

土地198㎡ (借地) 建物 (鉄骨部113㎡ 木造部85㎡) 乾燥機3台

# 組合法人化（平成24年2月）

# 新たな発展



— 集団活動の目的と分担の相互理解 —



# 稲作技術の向上

## — モミガラの有効利用 —



## イネの基本技術の復習





# くん炭 育苗

## 現代農業 2009.4月号



08年の育苗方法

日付	作業	備考
	予備	・種モミはJAから購入。選別はせず、ヘルシートフロアブルの200倍速に24時間漬けて消毒。一昼夜の陰干し後、10日間浸種。 ・育苗器に入れ、30~32度で2日間催芽
3月31日	播種	・自動播種機を使い、催芽モミで145g/枚播き ・播種後、30~32度にセットした育苗器に入れる
4月4日	苗だし	1cmくらい出芽したらハウスに並べ、ラプシートをかける
4月7日	追肥・入水	シートをはぎ、大塚有機2号(10-5-8)230~250倍液を約2ℓ/箱追肥してから入水、プール育苗にする
4月28日	田植え	2.5畝で田植え

水をかけすぎず、これくらいサラサラ落ちるくん炭なら自動播種機でも問題なく使える。pHは高めでも、プール育苗なら問題なし。試しにエントツでやいたくん炭も使ってみたが、苗のきばえは変わらなかった



軽〜い!

### 一度やったらやめられない くん炭育苗

千葉県君津市・中富生産組合  
編集部

くん炭苗はこんなに軽々。  
中富生産組合の青藤貞夫さん。(すべて倉持正夫撮影)

(120) 現代農業 2009.4



床土くん炭の苗      市販増土の苗

これまでに組合でつくってきたちょうどいい苗姿はこんな感じ

覆土に肥料が混ざっているうえ、ほかの苗同様に追肥もしてしまったため、丈が長くてやや茂りすぎた

健全な苗ができたが、やや生育が遅れ、丈も短かった。理由は2つ。  
①培土に肥料が混ざっていない分、追肥をほかの苗より多めにやる予定だったが、手違いで間違しかやれなかった。②保水力が低いためか、シートをはいた時点で葉が見たこともないくらいかさかさしていた。[育苗器から出した時点で水をかけてやったほうがよかったかも]と青藤さん

100%くん炭培土の苗



100%くん炭培土の苗      床土くん炭の苗

くん炭100%でも根張りはよく、ガッチリマットが形成された

田植えのときも苗はバラつかず、キレイに植えられた。根張りがいいからか、活着も早い

# 新たな試み

## 酪農家と提携

- モミガラ(排塵含む)処理を委託⇒  
⇒牛糞たい肥の安価購入⇒  
田へ(米ヌカ含む)散布⇒エコ米  
⇒モミガラ処理作業(女性)の軽減

## 創作モチの開発

# 今後の取り組み

- 後継者の育成（50歳代 2名 運転技術習得）
- 米作以外への拡大
- JA味楽園さだもと店の活用
- 適正な賃金、単価制の検討
- 開発行為、市街化への対応
- 機械の買い替えか修理か検討
- 好事例の学習、全国農業新聞、雑誌現代農業
- 行政、JAの支援



# 機械のメンテナンス術の習得

— 故障予知能力の向上 —



機械使用料支払計画

単位:千円

23.12

# 機械 使用料 支払計画

機械名	所有者	22	23	24	25	26	27	28
トラクター	貞夫	220	176					
畔塗り機	貞夫	150	400 <del>150</del>	150	100			
"	小西	51						
田植機	貞夫	51						
"	諒	32						
"	小西	53						
コンバイン	小西	164						
乾燥機	寅雄	88	528 <del>88</del>	88	88	88	88	88
籾摺り機	小西	60	48					
"	寅雄	40	120 <del>40</del>	40	40			
個人計		909	1272 <del>502</del>	0	0	0	0	0
トラクター田植機	組合	612						
田植機	組合	265						
コンバイン	組合	622	509					
コンバイン	組合	760	754	738	722	706		
乾燥機	組合	367	369	359	349			
籾摺り機	組合	176						
ライスセンター	組合		650	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250
組合計		2,802	2,282	2,347	2,321	1,956	1,250	1,250
機械使用料	個人	1,807	1,867	1,867	1,867	1,867	1,867	1,867
機械使用料	共有	2,091	2,091	2,091	2,091	2,091	2,091	2,091
収入計		3,898	3,958	3,958	3,958	3,958	3,958	3,958
支出予想計		3,711	3,556 <del>2,796</del>	2,347	2,321	1,956	1,250	1,250

- 注1 組合 乾燥機 平成20年6月購入(1,881,650円) JAから借入(170万円) 返済21年から5年払い  
 注2 組合 コンバイン 平成21年8月購入(3,449,265円) JAから借入(345万円) 返済22年から 5年払い  
 注3 組合 ライスセンター 平成23年7月建設(JA借入金11,900,000円) 返済23年から10年払い  
 注4 組合 ライスセンター 平成24年12月 増築(約250万円 自己資金)  
 注5 借入金残高 24年12月末現在 11,777 千円

# 振り返って

- パソコンの活用⇒経理、データ分析
- 組合員5名の決断  
(新たな機械購入、ライスセンター建設  
法人化、資金の借入れ等)



# 中富生産組合の取組み

—集落営農で良好な農業環境を目指して—

完

